

技術誌「cue」創刊を祝して

洛友会会長 近 藤 文 治



この度、京都大学工学部電気工学科の創立100周年記念事業として、電気系教室教官の研究成果並びに卒業生諸氏の依頼総説記事を収録した技術誌が「cue」なる名称にて発刊されることになりました。

いま、日本は大きな変革期を迎え、政治・経済等あらゆる方面で、グローバル社会に向けて大きな変革が求められています。この変革を克服しなければ21世紀における日本の繁栄はないと言われています。

特に産業界にあっては、経営の面では、日本が誇りとしてきた終身雇用・年功序列型待遇を基本とする日本式経営の活力不足が指摘され、その活性化が急務となっています。

一方技術の面では、戦後の日本の繁栄を築いてきた「改良・改善型技術－先進技術のキャッチアップ技術」は限界に達し、「他国の追随を許さぬ独創性に富んだオリジナルな技術」の開発が求められています。そのためには大学の基礎的な研究開発と、密着した産学協同による実用化の推進が、日本の明日を作り上げると言っても過言ではありません。そう言う意味において、今般、京都大学電気工学教室から技術誌「cue」が定期的に発刊され、電気系教官のハイレベルの研究成果が産業界に向けて発信されると同時に、各界で活躍の卒業生各位に依頼して、業界の最新の動向をお知らせすることは、時宜に適した誠に有意義な企であると考えます。

「cue」の発刊に当たって、今後の益々の充実と産業界と大学の連携が一層密となり、新技術の開発に貢献することを祈って止みません。

